

どでかい花火がここで5  
時間後打ち上がるようだ

落っこちそうなアスファルト

落ちたら全ての終わり。

息を飲んだ少年が一人いた。

しかし少年が落ちると

少し固くて腰を打つと少しばかり痛い白いマットがあるだけであった。

少年は壁に寄りかかって  
ふらふらと

青い自販機にたどり着いた

横にはタバコをふかした

剥げた老人が一人いる。

スコールウォーターのペットボトルを購入し、

少年は公園まで向かった。

通りかかった兄さんと話すと、

どでかい花火が

ここで5時間後打ち上がるようだ

空が暖色に変わり始めている。

左腕につけた1200円の腕時計を見ると、  
午後4時を回ったところ

5月の中旬ということになる。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。  
した。